

平成24年度 同好会事業報告

上高井の総合的な学習を考える会

世話係名

上野 浩

会長名

佃 啓光

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
5／	同好会発足会 役員決め, 活動内容の検討	
7／3	授業参観 (信濃教育会生活科教育研究委員会第2回北信ブロック会; 日野小2年) 「ぼくたち, わたしたちのまちたんけん ～泉の会の方にインタビューしよう～」 ・まち探検で出会った地域の方にインタビューし, その思いにふれた子どもたちの姿から交流活動を考える。	5名
8／1	夏期研修会 午前; 郷土の味「おやき」をつくって食べよう 講師…そのさと加工 そばの会の皆さん 午後; 川遊びの教材研究(豊丘ダム下親水公園)	10名
11／17	授業参観(郡研究委員会; 豊丘小1年) 「7人のだいこん」 ・1人1人「マイ畝」で育てている大根。間引いたり, 食したりしながら, 畑で大根と向き合う子どもの思いを考える。	8名

「上高井の総合的な学習を考える会」では, 夏期研修会を「私たち自らが対象に関わりながら子どもたちとの活動を思い描く場」と設定し, 私たち自身の体を通して感じ考える活動を計画しました。今年度は, 午前は豊丘活性化施設を会場に, 地域の方を講師にお招きしての「おやきづくり」を, 午後は「豊丘ダム周遊」と「川遊び」の教材研究を行いました。

身近な食である「おやき」ですが, 作った経験のない参加者も多く, 包む皮を練るところから興味津々, 生地粘り具合や重量感の手応えを味わいました。中に入れる具も, 調味料の分量などを講師の方に教わりながら手作りし, いよいよ生地で包んでいきます。皮が少し薄くなってしまっているところから破れて出てきそうになったり, 生地をうまく伸ばせずに包みきれなくなってしまうたりもしましたが, 何とか蒸すところまでこぎ着け, 四種のおやきができあがった頃にはちょうどお昼時。自分でやることで初めて分かった「おやきづくり」のおもしろみや難しさを語り合いながら, 出来たてほやほやのおやきをおいしくいただきました。

午後は豊丘ダム下親水公園での川遊びの教材研究の前に, 豊丘ダムまで上がり, 周遊路を歩いて一周してみました。木々の間を吹き渡る風や, ダム湖の水の青さなどを感じながら歩いていると, 「食」にかかわる活動や, 野に出る活動, 「水」にまつわ

る学習など、それぞれの先生方の実践が自然と語られ、情報交換のよい場ともなりました。その後、川遊びの教材研究のために親水公園へ。「子どもって石を積んで水をためるよね。」「そうそう。この石どう？」子どもでなくとも私たち自身が思わず夢中になっていました。

この活動の学びどころはどこか。子どもの学びをどこに見ていくのか。教師自身が対象にふれ、感じ、思いをたくわえていくことで、そのことをさらに深め合っていける会でありたいと思います。

（会長 佃 啓光）